

Jリーグクラブ・ユース指導者と高等学校サッカー部指導者との指導哲学の比較

The study of J-league club youth coache's philosophy

-Through comparison with the case of high school soccer club coache's philosophy -

古賀康彦¹⁾, 堀野博幸²⁾

¹⁾東京都立石神井高等学校

²⁾早稲田大学スポーツ科学学術院

キーワード: 質的研究, コーチング・メンタルモデル, 高等学校サッカー部, Jリーグ・ユース

Key Words: qualitative research, coaching mental model, high school soccer club,

J-league club youth

抄 録

本研究は、2002年から2010年までで、Jリーガー輩出人数上位者であるJリーグ・ユースと高等学校サッカー部各4名の指導者を対象に、コーチング・メンタルモデルを構築しその差異を比較することを目的とした。8名の研究対象者に対し、1対1の半構造的、深層的インタビュー調査を実施した。データ分析に関しては、Cote et al.(1993)による質的データ分析法を一部改変し行った。その結果、最も抽象度の高い大カテゴリーにおいて、すべての指導者に「人間力の向上」「プレーのパフォーマンス向上」「指導者の姿勢」が共通していた。特異性としては、「良い指導者の輩出」が挙げられた。Jリーグ・ユース指導者においては、「プロ選手の育成」が共通していた。Jリーガー時代の経験とトップチームの存在により「プロ選手の育成」という目標を現実的に捉えることができると考えられる。一方、高等学校サッカー部指導者においては、「世界を意識した個の育成」が共通していた。同一チームでの長期に渡る指導を通じ、代表選手となった教え子の存在により世界を意識し始めたと考えられる。Jリーガーを多く輩出している指導者の指導哲学を知ることによって指導者養成の一助となる可能性が示唆された。

スポーツ科学研究, 10, 173-182, 2013年, 受付日:2013年2月11日, 受理日:2013年9月9日

連絡先:古賀康彦 〒202-0021 東京都西東京市東伏見 2-7-5 体育教室棟 205

E-mail:y.k.0403@hotmail.co.jp